

東カリブ諸国機構（OECS）6か国月間情勢報告（2023年5月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

5月の東カリブ諸国機構（OECS）6か国（注）の内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

（注：アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネービス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

1. 概況

- （セントビンセント）珊瑚再生プロジェクトにおいて、これまでに移植された珊瑚の断片の85%以上の生存が報告された。
- （アンティグア）アンティグアの海岸にて、スコットランドのシーウィード・ジェネレーション社が開発したサルガッサム海藻を海底に沈める装置の運転試験が行われる。成功すると、海藻を使って炭素を海底に閉じ込めることが可能となり、炭素排出の緩和と除去に繋がると期待されている。
- （アンティグア）チャールズ3世の戴冠式に際して行われた世論調査によると、共和制移行希望者数が立憲君主制の維持希望者数を上回った。
- （セントキッツ）6日から13日にかけて、ハンリー副首相が台湾を訪問。
- （セントルシア）21日から5日間、ヒレイヤー・セントルシア副首相が台湾を初訪問。

2. 内政

- （3日セントルシア報道）セントルシア議会は、アレン・シャスネ野党党首を、政府の汚職を主張する発言について謝罪と撤回をしなかったことを理由に、停職処分とした。
- （3日アンティグア報道）チャールズ3世の戴冠式に際して行われた世論調査によると、共和制移行希望者数が立憲君主制の維持希望者数を上回った。グレナダ、セントキッツ、セントルシア、セントビンセントでは、立憲君主制維持を希望する声が多かった。
- （4日セントビンセント報道）珊瑚再生プロジェクトにおいて、これまでに移植された珊瑚の断片の85%以上の生存が報告された。
- （11日アンティグア報道）リチャード・ルイス議員（セント・ジョーンズ・ルーラル西選挙区）が、野党統一進歩党（UPP）の次期指導者に立候補する意向を示した。
- （14日グレナダ報道）健康・福祉・宗教省は、国内におけるデング熱の患者数が大幅に増加していると報告。

3. 経済

- （9日セントビンセント報道）台湾は、肥料やスプレーオイル、殺菌剤など55万東カリブドル（約20万米ドル）相当の農業用品をバナナ農家に寄贈した。
- （11日セントキッツ報道）台湾は、保健省及び青少年エンパワーメント・高齢化・障害者省へ、車椅子や便器、歩行器、杖などの医療機器を寄贈した。病院や保健所、高齢者介護施設などで活用される予定。
- （13日グレナダ報道）ミッチェル首相は、ロンドンで開催される投資による市民権（CBI）のイベント、第8回投資移民フォーラムに出席した。
- （25日セントビンセント報道）台湾は、市民開発プロジェクトの一環として、パソコン3720台と1000万東カリブドル（368万米ドル）相当の小切手を贈与した。
- （26日セントルシア報道）台湾は、ベルビュー・ヒューマン・リソース・センターにSMART教室を贈与。主にセントルシア国民のICTに関する知識構築を目標とする。
- （26日グレナダ報道）ミッチェル首相は、グランド・アンス・ビーチの保全やカレナージュ湾の復興など、気候変動に対応したインフラ整備のためにサウジアラビアから1億米ドルの支援を受けることを発表。資金提供に関する法的合意は未実施だが、無償資金と融資の組み合わせになる予定。
- （26日アンティグア報道）アンティグアの海岸にて、スコットランドのシーウィード・ジェネレーション社が開発したサルガッサム海藻を海底に沈める装置の運転試験が行われる。成功すると、海藻を使って炭素を海底に閉じ込めることが可能となり、炭素排出の緩和と除去に繋がると期待されている。
- （27日セントビンセント報道）セントビンセントとサウジアラビア開発基金は、サウスリバーズ地区におけるプライマリケアセンター及びベルビュー地区における文化芸術センターの建設に関する、計1600万東カリブドル（約600万米ドル）の融資契約に調印した。

4. 外交

- （8日セントビンセント報道）セントビンセントの旗を掲げた台湾の漁船がセントビンセント海域で密漁している、または脱税しているというデマに対し、在セントビンセント台湾大使が反論した。
- （8日セントキッツ報道）6日から13日にかけて、ハンリー副首相が台湾を訪問。
- （8日セントビンセント報道）ゴンザルベス首相がスナク英首相に対し、奴隷制の賠償と謝罪を支持するよう呼びかけた。
- （8日セントビンセント報道）ロード・アシュクロフト社の世論調査によると、島民の63%が君主制に賛同しているが、ゴンザルベス首相は、英国の君主を国家元首とすることは「不条理」であり、チャールズ3世をセントビンセントの王として受け入れることはできない、と述べた。

●（１１日セントキッツ報道）セントキッツのエネルギー・電力会社連盟の代表団は、９日～２１日まで東京で行われるエネルギー・ワークショップに参加し、地熱発電所の視察やエネルギー効率化を推進する日系企業の訪問を行った。当ワークショップは、JICAによるカリブ地域におけるエネルギー効率と再生可能エネルギーの促進・開発プロジェクトの一環として行われた。

●（１２日セントキッツ報道）セントキッツ政府とグアテマラ政府は、外交協力に関する協定に調印。この協定は外交発展と強化に焦点を当て、両国間の相互理解と協力を促進する。

●（２３日セントルシア報道）２１日から５日間、ヒレイヤー・セントルシア副首相は台湾を初訪問した。

●（２４日セントルシア報道）台湾が世界保健機関（WHO）年次総会への参加を拒否されたことを受け、台湾を公式訪問中のヒレイヤー副首相は頼清徳との会談で、台湾を国際社会の一員として承認することを支持する旨を約束した。

●（２５日グレナダ報道）アレクシス博士（グレナダの勅選弁護士）は、グレナダ国家賠償委員会が主催した第三回年次賠償講演会のゲストスピーカーとして講演し、カリブ地域で奴隷となった１５００万人の２００年に渡る無償労働の価値に基づき、英国に賠償を訴えた。